

公正証書遺言作成サポート申込書（兼ヒアリングシート）

行政書士渡辺事務所

渡辺文雄 宛

申込み年月日

年 月 日

依頼者 住所〒

（フリガナ）

氏名

職業

電話番号

F A X

P Cメール

年 月 日付料金表に基づいて下記の通り申込みます。

記

① お申し込みいただくサービスの番号を○でお囲みください。

1. 公正証書遺言作成サポート
2. 相続人調査
3. 相続関係説明図作成
4. 公正証書遺言の証人（2人目）
5. 戸籍謄本等の代行取得

以上

② 以下、該当する箇所をご記入ください。

※お書きになった遺言書の原稿やメモ等があればそれをお送りください。その場合は ② については記入する必要はありません。

1. 遺産の分け方の指定（どの遺産を誰にあげるか、あげる物、あげる人を指定する）

①. 土地（それぞれの土地ごとに記入）

※登記簿謄本のコピー添付の場合は、そこに記載のある部分は記入不要です。

- ・不動産番号「
- ・所 在「

- ・地番（登記簿どおりに）「
- ・地目「
- ・地積「
- ・あげる相手の氏名 生年月日「
- ・あげる条件等（あれば）「

②. 建物（それぞれの建物ごとに記入）

※登記簿謄本のコピー添付の場合は、そこに記載のある部分は記入不要です。

- ・不動産番号「
- ・所在「
- ・家屋番号（登記簿どおりに）「
- ・種類（例：居宅等）「
- ・構造（例：木造瓦葺2階建等）「
- ・床面積（1階△△. △△㎡、2階△△. △△㎡）「
- ・あげる相手の氏名 生年月日「
- ・あげる条件等（あれば）「

③. 預貯金（通帳別に記入）

- ・銀行名・支店名「
- ・預貯金種別「
- ・口座番号「
- ・名義人「
- ・あげる相手の氏名 生年月日「
- ・あげる条件等（あれば）「

④. 株などの有価証券（会社ごとくに記入）

- ・銘柄「
- ・預託証券会社名・支店名「
- ・株数「
- ・あげる相手の氏名 生年月日「
- ・あげる条件等（あれば）「

⑤. 自動車（車ごとに、車検証どおりに書いてください）

※車検証のコピー添付の場合は、そこに記載のある部分は記入不要です。

- ・車種（車名）「
- ・車体番号「

- ・登録番号「
- ・あげる相手の氏名 生年月日「
- ・あげる条件等（あれば）「

※「その他前条記載の財産を除く遺言者の有する一切の財産を〇〇に相続させる」  
との一文を入れる場合は、

- ・あげる相手の氏名 生年月日「

※配分方法の指定を、遺言で専門家等第三者に委託する場合は  
委託する人の住所と氏名「

## 2. 相続分の指定（誰にどのくらい遺産をあげるか、相続割合を指定）する場合

- ・財産を誰にどの割合であげるかを書いてください

記載例：妻〇〇〇〇 （昭和△△年△月△日生） 4分の3

長男〇〇〇〇 （昭和△△年△月△日生） 4分の1

「

※相続分の指定を第三者に委託する場合は  
委託する人の住所と氏名「

## 3. 遺贈する場合（遺言で、財産を「相続人」または「相続人以外（息子の嫁、内縁の妻、孫、友人など）」に与える場合）

- ・上記1. 若しくは、2. に準じて記載してください。また、あげる方を特定できるように①住所 ②氏名 ③生年月日 ④職業も記載してください。

## 4. 遺産分割を禁止する場合

禁止する期間「

## 5. 共同相続人間の担保責任の減免・加重（あげた財産に問題があったときについて指示）をしておく場合

その要旨「

## 6. 遺留分減殺方法の指定（法律で保証されている遺産の取り分（遺留分）が欲しい、と要求があった場合に備えて指示）をしておく場合

6. -1 遺留分減殺の順序を特に指定する場合

その要旨「

6. -2 遺留分減殺を特定の者に免除する場合

その要旨「

7. 負担付き遺贈の受遺者が放棄した場合についての指示（負担付きであげた遺産をいら  
ないと言ったらどうするかについて指示）をしておく場合

その要旨「

8. 負担付き遺贈の目的の価値減少の場合についての指示（負担付きであげた遺産が、遺  
留分を返せと言う請求などによって減ってしまったらどうするか指示）をしておく場合

その要旨「

9. 特別受益・寄与分

9. -1 特別受益の持ち戻しの免除（「生前贈与」や遺言による「遺贈」・「相続させる遺言に  
よる財産継承」があるが、遺産分割にあたり、その財産を特別受益としてその人の相続分  
から差っ引かないように、との指示）をしておく場合

その要旨「

9. -2 特別受益者の持戻免除をしないことを明記する場合

その要旨「

9. -3 寄与分を明記する場合

その要旨「

10. 無償譲与財産を親権者に管理させない意思表示と管理者の指定（孫にあげた財産を親  
に管理させたくないときの指示）をしておく場合

その要旨「

11. 一般財団法人の設立（遺言で、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する  
事項を定めて、一般財団法人を設立する意思示）をする場合

その要旨「

12. 公的機関へ寄付する場合

①相手方が個人の場合

氏名、住所、職業、生年月日「

②相手方が団体の場合

団体の正式名称、主たる事務所の所在地、法人格の有無、代表者名「

13. 信託の設定（遺言で、信頼できる人に財産を移転し、財産の管理などを頼むことを指示しておくこと）をする場合

信託目的「

14. 遺言で、生命保険の死亡保険金受取人の変更をしておく場合

①その要旨「

②遺言執行者を指定する場合その人の住所、氏名、生年月日、職業「

15. 遺言で認知する場合

① 子の母親の氏名、生年月日「

② 子の住所、氏名、生年月日、本籍、戸籍筆頭者「

③ 遺言執行者の人の住所、氏名、生年月日、職業「

16 未成年者がいる場合

16-1 未成年後見人の指定をする場合

その人の住所と氏名「

16-2 未成年後見監督人の指定をする場合

その人の住所と氏名「

16-3 財産管理のみの未成年後見人の指定をする場合

その人の住所と氏名「

17. 相続人の廃除、相続人廃除の取り消し

17.-1 相続人の廃除をする場合

①廃除する相続人の氏名・生年月日「

②廃除の理由（虐待、侮辱、非行の具体的内容）「

③遺言執行者の人の住所、氏名、生年月日、職業「

17.-2 相続人廃除の取り消しをする場合

①廃除の取り消しをする相続人の氏名・生年月日「

②廃除の取り消しの理由「

③遺言執行者の人の住所、氏名、生年月日、職業「

18. 遺言執行者の指定をする場合

その人の住所、氏名、生年月日、職業「

19. 遺言執行者の指定の委託をする場合

その人の住所と氏名、生年月日、職業「

20. 祭祀主宰者（仏壇や墓などを引き継いで先祖の供養をする人）を指定する場合

・指定する人氏名「

・その人へのことば「

21. 葬儀費用・債務・遺言執行にかかる費用の負担者とその割合を指定する場合

その要旨「

22. 相続準拠法の適用について遺言する場合（在日外国人が日本で遺言をする場合です）

その要旨「

23. 以前作成した遺言の取り消し、変更

23.-1 以前作成した遺言を取り消す

その要旨「

23.-2 以前作成した遺言を変更する

その要旨「

24. 予備的遺言・後継ぎ遺贈をする

その要旨「

25. 附言事項

25.-1 家族に対するお礼・感謝の言葉、こうした遺言を書いた理由、自分が亡き後の家族に関する希望など

その全文「

25.-2 法定相続分と異なる相続分の指定をした場合には、その理由

その全文「

25.-3 遺産分割にあたって遺留分減殺請求をしないことを望む場合は、その理由  
その全文「

25.-4 生前贈与、特別受益を加味しないことを望む場合は、その理由  
その全文「

25.-5 その他附言事項として遺言したいこと  
その全文「

③ あなたのご希望、ご家族の状況、相続財産の状況などを考慮した遺言書にするための情報として以下のご記入をお願いします。

(※ この欄の記入は任意です。お書きにならなくても遺言書原案作成は可能です。ただし、その場合はこの情報がない前提でのサポートになりますのでご了承ください。)

①ご家族（相続人）の年齢、職業、心身の状態、生活の状況

②相続財産の状況（種類と性質）

③遺言に込める思いのうち特にお話ししておいた方がよいと思われることなど、遺言書作成サポートにあたって参考にして欲しいと思う事柄がありましたらお書きください。

④ 「相続関係説明図作成」をお申込みの方は、以下の書類を揃え、同封してお送りください。

- ①被相続人の出生からのすべての戸籍（戸籍謄本・除籍謄本・改製原戸籍）
- ②相続人全員の戸籍謄本
- ③被相続人の最後の住所が分かる書面（住民票除票または、戸籍の附票）

④相続人全員の住民票の写

㉔ 「相続人調査」をお申込みの方は、以下をご記入ください。

① 被相続人の氏名 「

本籍地 「

生まれた年月日 「

亡くなった年月日 「

戸籍筆頭者の氏名 「

② 相続人全員の

氏名、被相続人との関係（続柄）「 ( )

本籍地 「

生まれた年月日 「

戸籍筆頭者の氏名 「

㉕ 戸籍謄本の代行取得をお申込みの方は、以下をご記入ください

・取得する方の、

氏名 「

本籍地 「

生まれた年月日 「

戸籍筆頭者の氏名 「